

部活動の活動方針

銚子市立豊岡小学校

校長名 加田 純二

教育目標	<ul style="list-style-type: none">・学校教育目標 ふるさとを愛し、豊かな心でたくましく生きる児童の育成 ～輝く瞳 温かい心 光る汗～・学校教育目標と部活動との関連 たくましく生きる児童の育成をめざし、参加する児童にとって達成感が得られ、喜びとやりがいの場となる部活動経営に努める。
部活動の基本方針	<p>1 運動部活動の位置づけと意義</p> <p>(1) 位置づけ 運動部活動は、学校教育の一環として、児童に運動への興味と関心を持てるよう、運動の楽しさや喜びを味わいながら、体力を高められるようにする。</p> <p>(2) 意義</p> <ul style="list-style-type: none">①運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。②体力の向上や健康の増進につなげる。③自主性、協調性、責任感、連帯感などを育成するとともに、達成感、充実感をもたせるようにする。また、学級内とは異なり広く人間関係の形成につなげる。 <p>2 運動部活動の運営にあたって</p> <p>(1) 指導体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none">①校長は部活動顧問の決定にあたり、学校の校務全体が効率的・効果的に実施されるよう、教員の他の分掌や経験等を考慮するとともに、教職員の協力体制を整える。②校長は、毎月の活動計画及び活動実績の確認等により、児童が安全に活動を行うことができるようにするとともに、教員の勤務時間管理等を行いながら、教員の負担が過度とならないようにする。 <p>(2) 適切な指導</p> <ul style="list-style-type: none">①顧問は、適切な休養の必要性と、過度な練習によるスポーツ障害や外傷のリスクについて正しく理解して指導にあたる。②顧問は、児童とのコミュニケーションを十分にとり、個別の指導に生かせるようにする。

③顧問は、科学的トレーニングの積極的な導入等により、短時間で効果が得られる合理的かつ効率的な指導を行うことができるよう努める。

④顧問は、学童期にふさわしい適度な部活動を行い、すべての児童にとって達成感が得られ、喜びとやりがいの場となるよう努める。

(3) 適切な活動時間と休養

①平日の練習時間は2時間程度とし、土曜日及び日曜日を含む学校の休業日は3時間程度とする。

②学期中は平日に1日以上、週末に1日以上の、週あたり2日以上の休養日を設ける。

③長期休業中は、学期中の休養日の設定に準じる。

(4) 適切な活動計画

①活動計画は、学校教育目標に沿って作成する。

②活動計画は、月ごとに活動日又は休養日がわかる計画を作成し校長に提出するとともに、保護者に配付する。

(5) 体罰の根絶等

校長は、全職員で共通理解のもと、体罰の根絶を徹底する。また、パワーハラスメントやセクシャルハラスメントによって児童の人格や尊厳を不当に傷つけることがないよう併せて配慮する。

(6) いじめ等の防止

顧問は協調性、責任感の涵養等の望ましい人間関係や人権意識の育成、児童への目配り等により適切な集団作りをする。特にいじめについては、決して行ってはならないという強い認識のもと他の教職員と連携しながら指導していく。

3 けがや事故の防止

(1) 運動部活動は、けがや事故を防ぐために、顧問が指導技術を高めるとともに、各児童の発達段階や体力、技能等を把握し、児童にとって無理のない練習となるよう留意する。

(2) 練習前には、その日の環境条件や児童の体調等の確認をするなど、安全に配慮して練習を行う。

(3) 学校外で活動をしたり、大会等で学校外の場所へ移動したりする際の安全指導は、あらかじめ部員全員に徹底し、安全への意識を高める。

(4) 部活動で使用する施設・設備については日常的な安全の確認や点検を実施し、施設・設備、用具の管理には万全を期す。

(5) けが人や病人、また、不測の事態に備え、校内の救急体制を整えておく。

4 保護者等との連携

(1) 顧問は、保護者や地域の方とコミュニケーションを密にとり、指導に生かす。

(2) 大会の応援など、保護者に協力を求めることも想定されるが、過度な協力要請にならないよう十分配慮する。